

質疑応答の概要（堤根、中組、さしきだ）

【道路計画に関すること】

Q：3・3・3とは何か。

A：道路の種別、幅員、通し番号を表しています。

Q：今の都市計画は河川の中を通過することを示しているのか、それとも河川の下を通すことを示しているのか。

A：今の都市計画決定は河川の中を通過する案で計画されていますが、河川の流れを阻害することになり、橋りょう案や地下トンネル案は周辺道路との接続ができないことや事業費が高額になることなどから実現が困難と考えています。

Q：北越谷小学校の横を通り河川堤防を潰して通すということか。

A：河川堤防はそのまま道路をつくることを考えていますが、具体的な位置等については、現地測量などを経て作成した詳細な図面でご意見を伺いながら検討していきます。

Q：国道4号バイパス、越谷流山線、出津橋との交差部は平面交差、立体交差のどちらか。

A：現在の都市計画は平面交差です。ただし、国道4号バイパスとの交差点は今後の交通量解析の結果や、関係機関との協議により立体交差が必要との結果となる可能性があります。

Q：生活道路が抜け道となり排ガスで生活環境が悪くなるので、高架にしてもらいたい。

A：ご意見として承ります。

Q：高齢化が進んでおり大きな道路を横断していくことが難しく、心配である。

30年先、50年先を考えた時、道路の質、要請が下がっていくのではないか。

元荒川のそばに整備される道路が本当に災害の時に効果的なものになるか疑問である。

A：ご意見として承ります。

Q：これまでの計画は、机上の空論ではなかったのか。

A：検討を積み重ねる中で河川内での整備は難しいという判断に至りました。

現在示している案を、皆様と一緒に検討していきたいと考えています。

Q：元荒川の素晴らしい環境を保全するという観点から、本当にこの道路が必要なのか、再検討を望む。

A：ご意見として承ります。

Q：元荒川に沿わず文教大学の北側に大きく回すなど、別ルートではできないのか。

A：ルート検討の具体的な内容については、次回の説明会で説明させていただきます。

Q：これから人口減少もあり、25mの幅員は本当に必要か。

A：交通量を1日2万4千台と想定しており、25mの幅員が必要となります。

西側の国道463号、東側の東武スカイツリーラインとの接続部まででは既に4車線で完成しており、本区間だけ車線数を減らすことは交通の流れに影響が生じ、事故の発生も考えられます。

Q：実現が困難とは、予算上困難なのか、技術的に困難なのか、数値をもって示してもらいたい。

A：次回以降の説明会で示させていただきます。

Q：越谷流山線、国道4号バイパスと信号が連続すると渋滞して困る。

また、道路の整備により桜並木の観光客による渋滞が起きて困る。

A：信号機の設置については警察と協議していきます。

また、観光客による渋滞の影響については、今後検討してまいります。

【周辺環境に関すること】

Q：排ガス、騒音、自然景観など環境に対するデータを示してほしい。

A：今後、環境面の必要な調査を実施し、必要な対策を実施していきます。

Q：国道4号バイパス周辺に住んでいるが振動がひどく、何か対策はできないか。

A：次回の説明会までに確認します。

【事業計画に関すること】

Q：概算の工事費、立ち退き対象戸数、予想される通行台数はどのくらいか。

A：現地測量など経て詳細な図面を作成した上で、具体的な数字を説明させていただきます。

計画台数は1日に2万4千台です。

Q：都市計画変更手続きにどの位の期間が必要か。工事完成までにどの位の期間が必要か。

A：都市計画変更手続きに1年程度必要と考えています。

都市計画変更後7年を目安に工事完成を計画していますが、遅れることもあります。

今の段階では地元調整、都市計画変更、工事に10年を考えています。

Q：予算はどの位か。

A：現時点では未定です。

【合意形成に関すること】

Q：今後も地元住民を集めて説明会をするのか。

A：いただいたご意見についての対応について、同じような説明会を行うか、別の方法とするのか、自治会長と相談の上進めてまいります。

皆さんのご意見を伺いながら進めていくため、このような場を今後も作っていきたいと考えています。

【周辺道路に関すること】

Q：駅から文教大学の道のりは変わるのか。

A：浦和野田線には両側に歩道ができますが、その歩道と出津橋は接続したいと考えています。

Q：出津橋を車両通行可能とすることについて、どのように考えているのか。

A：(越谷市)

現在の歩道橋を車も通れる橋に変えると地域の交通環境が大きく変わることから、形式については浦和野田線の計画に併せて地域と話し合っていきたいと考えます。

Q：国道463号バイパスのさいたま市手前に工業団地の計画があるが、それらの交通量は考慮されているのか。

A：工業団地の計画については、確認します。